

平成 23 年度事業報告

平成 23 年 4 月 1 日から

平成 24 年 3 月 31 日まで

事業の概要

松崎町の文化・体育施設等を活用して住民の生活文化の向上と地域の活性化を図ると共に施設の効率的な管理運営を行い、もって住民の福祉の増進に寄与することを目的として振興公社は設立されました。

本年度は、指定管理者制度に基づき指定された農村環境改善センター、伊豆の長八美術館、重要文化財岩科学校、明治商家中瀬邸、民芸館、道の駅花の三聖苑伊豆松崎、公共の宿伊豆まつざき荘の管理運営に努めるとともに、町が提唱するグリーンツーリズム推進事業を受託し、都市と地方の共生、地域の活性化を図れるよう事業展開をしました。

また、公益法人制度改革への対応については、平成 25 年の期限内に新法人への移行にむけ協議を行いました。

1. 地域活動情報の収集及び提供

① 観光情報の収集及び提供

観光施設や宿泊、交通機関等の入込状況を調査し、関係機関に情報提供しました。また、町内の観光情報等は温泉郷だよりとしてマスコミ関係者に発送しました。振興公社のホームページでは施設情報、イベント等タイムリーな話題提供を行いました。

② グリーンツーリズム推進事業

町からグリーンツーリズム推進事業を受託し、町の自然を活かした体験型旅行を誘致するため、現在行われているプログラムや他の市町の協議会での事例を参考に新たなプログラムの開発や観光資源の発掘を目標とし、また、地域の情報の収集及び提供に努め各機関との連携を図りながら事業を進めました。

昨年度から取り組んでいる子ども農山漁村交流プロジェクトでは、農林水産省関東農政局の食と地域の交流促進対策交付金交流促進計画が採択、承認されました。公社としては「ギュッと凝縮！農山漁村 - まるごとふるさと自然学校 -」のパンフレットを作成し、静岡市校長会、JTB 教育旅行、近畿日本ツーリスト教育旅行担当者等に配布、PR を行いました。10 月に実施した静岡県農山

漁村交流プロジェクト支援事業（マッチングモニターツアー事業）では、開催後、三島市の中学校から平成 24 年度に宿泊体験を行いたいとの申し出があり、学校訪問を実施しました。

更に、体験型旅行の取組みとして伊豆半島ジオパーク構想推進のため伊豆半島ジオガイド養成講座に参加するとともに、松崎町のジオガイド育成の一環として町並み散策の案内で活躍している「ふるさとガイド松崎」のガイドを対象に松崎町ジオガイド研修会を開催しました。

③ 料理教室の開催

本年度は3人の講師を招き、カロリー計算や栄養バランスに気を配った和食やホテルの洋食メニュー、お菓子作り等の内容で第 25 期の料理教室を開催しました。健康に留意しながら、且つ家庭でできる本格的な料理、宿泊施設にも対応できる料理をテーマに潤いある食生活の意識の高揚を図りました。

■ 料理教室開催回数 洋食 3 回・和食 3 回・菓子 2 回 合計 8 回

■ 受講者 各回 20 人募集（延べ 108 人）

実施日	内 容	参加人数	会 場
6 月 16 日	菓 子	18 人	環境改善センター
7 月 13 日	洋 食	13 人	環境改善センター
10 月 7 日	和 食	14 人	環境改善センター
11 月 8 日	和 食	13 人	環境改善センター
12 月 7 日	菓 子	13 人	環境改善センター
1 月 18 日	洋 食	13 人	環境改善センター
2 月 17 日	和 食	11 人	環境改善センター
3 月 14 日	洋 食	13 人	環境改善センター

④ 体験教室の開催

伊豆の長八美術館では、本年度も漆喰饅絵、栄光球体験教室を開催しました。当美術館ならではの教室は毎回好評であり、学校教育とも連携を図りながら事業展開しています。

道の駅花の三聖苑では、夏休み期間中に鮎のつかみ取りを開催しました。夏の風物詩として定着し、参加人員は昨年度を上回る結果となりました。

実施日	内 容	参加人数	会 場
年間 67 日間	漆喰饅絵教室	225 人	伊豆の長八美術館他
年間 58 日間	栄光球教室	827 人	伊豆の長八美術館他
夏期 25 日間	鮎のつかみどり	1,702 人	那賀川

⑤ 婚活活動支援事業の開催

松崎町の出会い創出事業として、町内の未婚男性と町外の未婚女性の出会いのきっかけをつくるため事業展開しました。お菓子作りや施設見学、伊豆まつざき荘での交流会等終始和やかな雰囲気のなか2日間の日程を終えることができました。

実施日	内 容	参加人数	会 場
10月15、16日	お菓子作り 美術館見学 交流会等	男性9名 女性9名	環境改善センター 伊豆の長八美術館 伊豆まつざき荘等

⑥ グリーンツーリズム推進に協力

グリーンツーリズムの一環として、各施設においても下記事業を展開し推進に協力しました。

- 公共の宿伊豆まつざき荘 ほたる鑑賞会、ぶどう狩り体験
わさび漬けづくり教室、棚田農作業体験
農業振興会の朝市、お祭りひろば
餅つき・餅まき大会
- 民芸館 田んぼを使った花畑へ出店、観光案内
棚田田植祭へ出店、観光案内
- 重要文化財岩科学校開化亭 棚田の収穫祭へ出店、観光案内

2. 緑化事業の推進

環境改善センターをはじめとする各施設の館内や花壇、フラワーポット等へ草花を植え、利用者の心を和ませるとともに心身のリフレッシュに役立てました。

- 春植え ベゴニア・メランポジウム・サルビア・マリーゴールド・ポーチュラカ
- 秋植え ビオラ、ノースポール、キンセンカ、ナデシコ、ベゴニア

3. 文化的催事の受託及び協力

全国漆喰鏝絵コンクール作品展

期間 平成23年9月25日から10月31日まで

場所 伊豆の長八美術館特別展示室

第12回全国漆喰鏝絵コンクール作品展では、応募作品の中から入賞作品15点を伊豆の長八美術館へ展示しました。

- 期間入館者数 5,354人（常設展を含む）前年比1,563人減

4. 公の施設の指定管理事業

指定管理事業の概要は、次のとおりです。

① 環境改善センター

区 分	利用件数	利用者数
文化ホール	202件	13,371人
研 修 室	213件	5,400人
大会議室	244件	5,078人
和 室	185件	1,571人
調理実習室	99件	1,140人
ロ ビ ー	248件	3,404人
合 計	1,191件	29,964人

松崎町農村環境改善センターの管理に関する基本協定書第6条別紙2「松崎町農村環境改善センター管理仕様書」の施設管理業務を行いました。

各会場の利用については、区長会や各種委員会及び集団検診といった行政関係の利用のほか、学校関係の展示会、町民グループによる体操サークル等活発な利用がされました。文化ホールでは「文化協会芸術祭」「ピアノ発表会」といった恒例イベントや社会福祉大会、中高合同美術書道展が開催され、研修室・大会議室、調理実習室では「ヨガ教室」「補聴器相談会」「料理教室」が開催されました。

②伊豆の長八美術館

区 分	入館者数
一般大人	35,498人
一般小人	1,005人
団体大人	2,934人
団体小人	145人
無 料	1,148人
合 計	40,730人

伊豆の長八美術館の管理に関する基本協定書第6条別紙2「伊豆の長八美術館管理仕様書」の施設管理業務を行いました。

平成23年度は、東日本大震災の影響からエージェント関係の団体入館者が半減し、年間入館者数は40,730人となりました。誘客対策としては、震災の影響の少ない静岡、浜松方面、名古屋、岐阜を中心とした中京方面へのエージェントセールスを実施するとともに、大阪での「ふじのくにしずおか観光大商談会」個別商談会で積極的なPR活動を行いました。

自主事業の漆喰鰻絵体験教室は、夏休み(116人)、冬休み(21人)をはじめ